

一般質問

◆本市における農業の未来について

質問 本市の基幹産業でもある農業の今後のあるべき姿をどのように考えているのか伺う。

答弁 課題として「担い手不足」「農地の集約化」「水稻依存の構造」などがあるが、第3次湯沢市農業振興計画において、地域で暮らし稼げる農業を実現し、後継者が意欲を持って農業経営に臨めるよう取り組んでいく。

質問 現在の本市における農業経営体数とその内訳について伺う。

答弁 個人経営体が1958戸、団体経営体が80団体である。個人経営体のうち、専業農家が、362戸、兼業農家は、1596戸となっている。

質問 担い手・人材不足に対する今後の対応策について伺う。

答弁 次世代の新規就農者の育成支援を行うと同時に、今後も市職員が就業時間前や週休日に従事できる副業制度を導入し、就業可能な人材確保に努めていく。

質問 「スマート農業」の普及をどのように考えているのか伺う。

答弁 スマート農業の導入希望者には、国や県の補助金制度も活用し積極的に支援していく。



ふじ た たく し
藤田 健志 議員

◆令和6年度
予算編成方針
針について

質問 予算編成にあたり、市長が最も重要視する点は何か伺う。

答弁 特に少子化・子育て対策に力を入れ、予算に反映させていく。

質問 国・県・他団体の補助制度を的確に把握し、積極的に活用する点があるが、情報収集の方法を伺う。

答弁 補助金についてはメールやリモート会議等で示される場合もある。今後も国や県等と情報交換を密にし、積極的な財源確保に取り組む。

質問 財政調整基金の残高と繰入予定額を伺う。

答弁 12月補正後の残高見込額は、約43億円であり、繰入予定額は過去3年と同様の約11億円を見込んでいる。



湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画を
ご覧になれます。

◆産業振興について

質問 インバウンドの誘客に向けた今後の取組について伺う。

答弁 台湾やタイからの誘客を推進することとし、県やJＲなどと連携したコンテンツの提供や情報面での受け入れ環境の整備も積極的に進めていく。

質問 本市の観光地での長期滞在や通年観光は重要課題であると考えるが。

答弁 とことん山周辺における体験型コンテンツの充実を図るなど、新たな観光スタイルを提案し旅行者の長期滞在につなげていく。また、一級河川での川の濁りなど溪流釣りの条件が悪化していることに対しても原因を究明しながら県と相談・協議を進めたい。

◆人口減少・少子高齢化対策
について

質問 物価高騰などが続いているが、子育て世帯の負担軽減を図るため学校給食費の無償化に取り組むべきと考えるが。

答弁 子育て支援策として有効な施策と捉えており、令和6年

◆地域医療の充実について

質問 地域医療は医療体制の充実や地域住民の健康を支えていくことも重要であると考える。医療・介護等の人材確保の進め方について伺う。

答弁 市民の皆様が安心して医療・介護を受けられるよう、県などとも連携し人材不足に対して必要な支援・対応をしていく。

質問 救急業務は市民の生命を守る重要な業務であると捉えている。消防本部と各分署の今後のあり方について伺う。

答弁 救命率の維持向上のため、分署は各地域に維持し、救急業務体制を確保していく。



かね こ まさひろ
兼子 正寛 議員



湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画を
ご覧になれます。